

## ブドウ新品種 ‘サンヴェルデ’ の品種特性

ブドウ新品種 ‘サンヴェルデ’ は、大粒で糖度が高く食味が優れており、栽培面でも裂果が少ないなど作りやすい品種です。しかし、果皮に汚れがつきやすいという課題もあります。

‘サンヴェルデ’〔ダークリッジ×センテニアル〕は、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で交配・育成され、2010年5月に品種登録され、今年度から苗木の販売が開始された新品種です。

果皮は黄緑色で、果実の成熟期は‘巨峰’と同じく、農業技術センターほ場では雨よけ栽培で8月下旬となります。花振るいが少なく、房作りも巨峰並に比較的容易にできます。また、裂果がないため栽培しやすい品種です。

果粒は‘シャインマスカット’と同程度の大粒になります。果肉は硬く‘シャインマスカット’に近い食感ですが、皮が厚く皮ごと食べるのには向いていません。マスカット香はないですが、糖度が高いことと、酸が低く渋味がないため、食味は良好です。果皮に汚れがつきやすいため(図2)、市場出荷よりは直売などに向く品種と思われます。この汚れは花かす由来と考えられ、現在花かすをとる道具の開発が果樹研究所で進められています。



図1 成熟期の‘サンヴェルデ’



図2 果皮に発生した汚れ

表1 雨よけ栽培における‘サンヴェルデ’の果実品質(2011)

※ ジベレリン処理：満開期25ppm、満開10日後25ppm

収穫日	果房重 g	果粒重 g	果皮色	はく皮	果肉 特性	果肉 硬度	糖度 (Brix.%)	酸度 (g/100ml)	香気	渋味	裂果性
8/25	599.1	13.1	黄緑	中	崩壊	硬	19.9	0.53	無	無	無